

八雲町の議会

第 62 号
令和元年8月

編集／議会広報広聴常任委員会



浜辺をきれいに！……………（7月14日 落部スポーツクラブの活動）

映像配信中！YouTube
「八雲町議会」で 🔍 検索



主な内容

	ページ
○一般会計補正予算（第2回定例会・第2回臨時会）……………	②
○5名の議員が町政を問う（一般質問）……………	④
○議員研修会報告他……………	⑦
○議件・賛否一覧他（定例会・臨時会）……………	⑧
○常任委員会の活動（所管課報告）……………	⑩
○八雲町熊石で頑張っている若者たち（耳をすまして）……………	⑫



6月定例会

令和元年度一般会計補正予算

14億3,816万6千円追加

(補正後の総額 154億7,789万1千円)

6月定例会は6月5日から6月7日まで3日間の会期で開かれました。税条例の改正、財産取得など議案17件、専決処分の承認1件、繰越明許費繰越等の報告4件を審議し、いずれも原案通り可決しました。

補正予算の主な内容

・学校給食センター改築工事

- ・監理業務委託料 715万1千円
- ・改築工事請負費 8億2,438万7千円
- ・建設用地購入費 3,765万3千円
- ・備品購入費 294万4千円

消防本部並び用地に建設。
八雲・熊石を統合し、アレルギー除去食にも対応。
令和2年8月運用開始。



・ドクターヘリ離発着場新設工事

- ・外構工事請負費 1,414万8千円
- ・用地購入費 1,805万1千円

現在の離発着場は手狭なため、消防本部並び用地を取得し、新たな離発着場を建設します。



・教員住宅建設工事

- ・実施設計業務委託料 795万9千円
- ・建設工事請負費 1億296万円

老朽化に伴い、豊河町に1棟4戸の教員住宅を建設します。

・喫煙所設置

- ・庁舎管理用備品購入費 23万3千円

健康増進法の改正により、受動喫煙を防止する措置として設置します。
賛否両論ありましたが・・・

・落部小学校大規模改修工事

- ・監理業務委託料 540万1千円
- ・改修工事請負費 2億5,293万4千円

屋上防水の他、トイレ、空調設備の改修を行います。
令和2年3月完成予定。



財産の取得

ロータリ除雪車 令和2年1月10日納車予定	4,466万円
小型動力ポンプ付大型水槽車 令和2年3月15日納車予定	5,071万円
小型動力ポンプ付積載車 *熊石配備 令和2年2月28日納車予定	1,450万9千円
高規格救急自動車 *熊石配備 令和2年2月28日納車予定	3,285万112円



7月臨時会

3件の工事請負契約を締結

臨時会が7月5日に開かれ、公営住宅新築工事等3件の工事請負契約締結、専決処分報告1件を原案通り可決しました。

- ・出雲町C団地公営住宅新築工事(A・C棟建築主体)
- ・契約金額 1億879万円 (有)原田工務店

- ・出雲町C団地公営住宅新築工事(B棟建築主体)
- ・契約金額 6,267万8千円 高橋組土建(株)



- ・熊石地域町立保育園新築工事(建築主体)
- ・契約金額 1億367万5千円 (株)黒島建設



一般質問

住みよいまちを 築くために！

Q 登下校時、車の送迎ルールは？

A 新たなルール作りに向け、協議していく



おおく ぼけんいち 議員
大久保建一

問 荒天時や冬期間、八雲小学校付近では送迎の車で混雑し、児童にとって危険な状態。ルールを作り、周知すべきでは？

教育長 原則は「歩いて登校」だが、保護者の送迎を否定できない。新たなルール作りに向け、関係部署や学校、PTA等と共に協議していく。



Q コンパクトなまちづくりを
A ゆっくりと慎重に

問 この度、当町でも立地適正化計画が策定された。都市機能・住居機能の集積は、広い八雲町に必要なものであり、インフラや住民サービスの効率化、財政面からも積極的に取り組むべき。どう進めていくのか町長の考えを伺う。

町長 本計画は目標を20年後とし、ゆっくりと機能の集積を図り、持続可能なまちを目指すもの。人口減少に対する町のビジョンを住民と共有し、拠点間のネットワーク化も併せて考えたい。しかし、住民の生活設計や財産にもかかわることなので、国の施策を注視しながら慎重に進める。

議会これからの予定

《8月》 8日 第4回臨時会

《9月》 9日～13日 第3回定例会
会派代表者会議
決算特別委員会
各常任委員会
13日 全員協議会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、
令和元年第3回定例会
9月9日（月）午前10時から
開会の予定です。
決算特別委員会も予定されています。
YouTubeで映像配信もします

Q 施設一体型小中学校を！

A 現時点では考えていない



あかい むつみ 議員

問 施設一体型の小中一貫教育にすることで、より連携が図られ、教育的効果も上がるのではないかと？また、一体化することで削減される経費を、教育の充実に向けようか？

教育長 学校の統廃合については保護者や地域の声を最大限に生かすという方向で、性急に統廃合は行わず、今ある学校を大規模改修しながら進めて行くのが望ましい。

Q 日本一おいしい給食を！
A 様々な工夫をし、食育に努める

問 子ども達の健康を考えた給食でも、捨てられては、非常にもったいない。地場産の食材も入れながら、メニューを工夫し「八雲の給食は日本一おいしい！」と喜んで食べ、残食を最小限にはできないか。

教育長 残食は、少しずつ減少しているが、大きな課題。また、小学校低学年は準備に時間がかかり、時間内に食べ終わるのは難しい。栄養教諭が学校を回って子ども達の食べる様子を見て、どうして食べないのか、どういう感じで食べているのかなど、現場の声を聴きながら工夫を重ねていく。



Q 消防用車両の過積載対策は

A 最大車両総重量の変更手続きで対応

問 過日報道されたように、消火活動等に必要な機材を積むと過積載となってしまう。

必要な機材を運ぶための対策は。

町長 多く積んだ積載物は降ろし、タンク内の水は、規定量にしている。重量超過となっている消防車両は、最大車両総重量の変更手続きにより、降ろした積載物を、再度積めるよう準備をしている。

消防長 7台が変更手続き済み、残り18台は、随時

手続きをしていく。

Q 熊石地域水産試験研究事業の進捗状況は

A 着手したばかり、成果はまだ

問 5月29日付北海道新聞に「ウニ養殖3年目成果着々」と載っていた。養殖意識も高まり、期待も高くなっている。海洋深層水を使っている。ダルス育成状況や水槽での魚の飼育等の進捗状況と、これからの展望を伺う。

町長 共同研究のテーマは、ダルスという海藻の通年栽培試験、ウニの人工餌料での養殖試験、魚類の増殖試験を計画している。着手したばかりであることから、際立った成果を報告することはできないが、今後、進捗状況を議会に報告していく。



よこた きよし 議員



Q 発達障害に対する誤解をどう取り払うか



議員 公雄 三澤

A 地道に啓発活動を続ける

管理を義務付けていないので、山の荒廃や治水面での不安がある。町長の考えを伺う。

町長 植林から製材までの一連の流れの中で人材育成ができる仕組みを立ち上げたい。

町長 植林から製材までの一連の流れの中で人材育成ができる仕組みを立ち上げたい。

Q まちづくりを担う「人財」をどう育てるか

A 人財育成には様々な方策がある

問 各種審議会の人選は公募も含めて固定化していないか。

町長 それは認める。個人的には各種青年部や町内会に直に入っ

て話を聞く手法に手応えを感じて

いる。問 PTAという子育て世代や児童会・生徒会などの未来の担い手世代、そして生涯学習に関わる高齢者世代という各層をまちづくりに繋げられないか。

町長 大変、興味深い。社会教育と政策推進課の連携というものを研究してみたい。

問 Q 国有林野の改正案をどう受け止めているか

A 大変なチャンスととらえる。伐採を民間に開放し、植栽

教育長 さらなる理解の促進と啓発・支援の充実に取り組む。

町長 当事者以外の方々には理解

するのが難しい。障がいの特性を

理解してもらおう講演などを毎年開

催している。

Q 「ごみゼロ社会」実現のために

A 循環型社会をめざす



議員 智子 佐藤

問 「ごみゼロ社会」実現は具体的にどう進めていくのか。

町長 平成30年3月に策定した

「八雲町一般廃棄物ごみ処理基本計画」により3Rの実現、循環型の社会をめざす。

問 八雲のリサイクル率は何%か。環境水道課長

平成30年度のごみの全体量が6052トン、うちリサイクルが1426トンで、リサイクル率は23・6%になる。

問 分別に対する学習・啓蒙がもっと必要では。

町長 町民並びに学校や工事関係者、外国人実習生等、分別の学習機会を設けたい。

【3R】
・リデュース（ごみを減らす・持ち込まない）
・リユース（再利用）
・リサイクル（資源として活用）のこと

Q 町営住宅使用料、滞納させない手立てを

A 地道に続ける

問 住宅使用料滞納をどのように回収するのか。

町長 その月の納付期限を超えた入居者に翌月督促状を送付。3ヶ月を超えると催告書を送付。納付相談・指導につなげている。

問 これまでの累積された滞納額はいくらか。

建設課長 3050万円程になるが、現年度分の滞納額は着実に減っている。

問 滞納は住民のSOS。手を差し伸べるべき。

建設課長 今の手法を地道に続けていく。

北海道町村議会議員研修会に参加してきました

6月25日、北海道町村議会議長会主催の研修会に議員8名で参加してきました。

前半の講師は、テレビ・雑誌等でおなじみの政治評論家・有馬晴海氏が「どうなる？日本政治」のテーマで今後の日本の迎える問題や進む方向などを講演していただきました。

後半の講師は、中央大学名誉教授で、日本国づくり研究所代表・佐々木信夫氏が「地方議会は変わるか、自治体をどう変えるべきか〜」のテーマで、地方議会の存在意義や問題点・解決へのアドバイスを講演していただきました。

会場は北海道全域から約1,000人の町村議員が集結し、熱心に聞き入っていました。翌日は、新法制定やアニメ等で何かと注目のアイヌ文化を研修するため、札幌市アイヌ文化交流センターを見学してきました。



7月23日に議会報告会を開催しました！

会場 はぴあ八雲 19人参加

会場 熊石総合支所 14人参加

会場 落部レクセンター 7人参加

**議会報告会の内容については
議会広報11月号に掲載予定**

開かれた議会をめざして



参加された皆様、ありがとうございました。

令和元年第2回定例会議件一覧（令和元年6月5日～7日）

区分	番号	件名	結果
議案	1	八雲町税条例等の一部を改正する条例	可決
議案	2	八雲町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議案	3	八雲町火災予防条例の一部を改正する条例	可決
議案	4	財産の取得について	可決
議案	5	財産の取得について	可決
議案	6	財産の取得について	可決
議案	7	財産の取得について	可決
議案	8	北海道市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案	9	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
議案	10	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	可決
議案	11	辺地に係る総合整備計画の変更について	可決
議案	12	八雲町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	可決
議案	13	令和元年度八雲町一般会計補正予算（第2号）	可決
議案	14	令和元年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案	15	令和元年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案	16	八雲町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案	17	令和元年度八雲町一般会計補正予算（第3号）	可決
承認	1	専決処分の承認を求めることについて （八雲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
報告	1	専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）	報告済
報告	2	平成30年度八雲町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越について	報告済
報告	3	平成30年度八雲町下水道事業特別会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越について	報告済
報告	4	平成30年度八雲町病院事業会計継続費に係る予算の繰越について	報告済
発議	1	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決
発議	1	「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書	可決
発議	2	信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書	可決
発議	3	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	可決
発議	4	教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下の学級」の実現、義務教育費国庫負担金制度堅持の意見書	可決
発議	5	2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	可決
発議	6	2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
発議	7	高齢に伴う難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める意見書	否決
発議	8	会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定及び財源確保に関する意見書	否決
発議	9	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書	否決
発議	10	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書	否決
議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について			申出決定
議員派遣の件			派遣決定

異議あり!

第2回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議 案 名	採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	齋藤實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中裕	牧野仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉隆	黒島竹満	能登谷正人
発議第7号 高齢に伴う難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
発議第8号 会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定及び財源確保に関する意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	○
発議第9号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○
発議第10号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○

※能登谷 正人議長は賛否同数の場合に、その可否を決定します。

令和元年第2回臨時会議件一覧 (令和元年7月5日)

区分	番号	件 名	結果
議 案	1	工事請負契約の締結について	可 決
議 案	2	工事請負契約の締結について	可 決
議 案	3	工事請負契約の締結について	可 決
報 告	1	専決処分の報告について (損害賠償額の決定について)	報告済

議会のうごき

《5月》

- 14日 文教厚生常任委員会
- 31日 議会運営委員会

《6月》

- 5日～7日 第2回定例会
- 5日 全員協議会
会派代表者会議
国立八雲病院跡地利用・養護学校
有効利用促進議連総会
- 6日 総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
広報公聴常任委員会
- 25日 全道議長会主催議員研修会

《7月》

- 5日 第2回臨時会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
- 9日 広報公聴常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 16日 広報公聴常任委員会
- 22日 第3回臨時会
総務経済常任委員会
- 23日 議会報告会
- 30日 議会運営委員会



常任委員会の活動

令和元年6月の常任委員会の活動です

総務経済

6月6日に所管各課から報告を受けた中で主なものをお知らせします。

●噴火湾パノラマパークの藤棚の撤去について（公園緑地推進室）

平成23年に東陽建設（株）他1社より、ご寄付いただいた整備された藤棚は、棚の柱の根元から腐食が進み、これまでも平成30年に一度崩壊し補修しましたが、この冬にも全体の3分の1近くが再度崩壊しました。寄付者には、今後の改修・維持管理には約1800万円相当が必要となる旨を伝え、検討の結果、維持は困難と判断し、5月29日・30日両日に撤去したと報告を受けました。

全長257mにも及ぶ藤棚ではあったが、なんとも残念！

●トンネル工事の進捗状況について（新幹線推進室）

トンネル本坑の掘削済み総延長は約6.3kmで、約15%を掘削したことになる。今後、明かり区間

（切土・盛土、高架橋、橋りょう）の詳細設計、用地取得、工事契約を進めていく予定である。

●平成30年度ふるさと応援寄付金の実績について（政策推進課）

約32万件で金額は約37億円！
新制度（地場産品の基準や募集経費に関する規定が変更）が6月

1日より施行となったので、八雲町も返礼品については、3割を上限として対応している。寄付金はこれからも有意義に大切に使用させていただきます。

平成30年度ふるさと応援寄付金実績

	数 値	備 考
件 数	316,739 件	町外 316,735 件 町内 4 件
金 額	3,681,122,000 円	町外 3,680,542,000 円 町内 580,000 円

工事の進捗状況（八雲町内）



■ トンネル工事10件を契約済（うち5工区掘削中）

	工区名	受注者	進捗状況(5/1現在)
1	立岩トンネル(ルコツ)	奥村JV	・横坑掘削完了 ・本坑7.6%掘削済
2	立岩トンネル(山崎)	大林JV	・横坑73.7%掘削済 ・本坑未掘削
3	立岩トンネル(立岩)他	戸田JV	・本坑56.5%掘削済
4	野田追トンネル(北)他	フジタJV	・本坑54.5%掘削済
5	野田追トンネル(南)他	東急JV	・斜坑掘削完了 ・本坑29.1%掘削済
6	祭礼トンネル他	三井住友JV	・掘削準備中
7	磐石トンネル(北)他	西松JV	・掘削準備中
8	二股トンネル外1箇所	戸田JV	・掘削準備中
9	渡島トンネル(上ノ湯)他	安藤ハザマJV	・掘削準備中
10	渡島トンネル(上二股)	清水JV	・掘削準備中

- ▶ トンネル本坑の掘削済み総延長約6.3km(約15%)
- ▶ 今後、明かり区間(切土・盛土、高架橋、橋りょう)の詳細設計、用地取得、工事契約を進めていく予定



文教厚生

6月6日の委員会で報告を受けた主なものをお知らせします。

【保健福祉課】

障がい福祉に関するアンケートについて

第4次八雲町障害者計画、第6期八雲町障害福祉計画、第2次障害児福祉計画の策定に向け、障がいを抱えている方の生活の様子や不安・悩み、また要望などのニーズ把握を行い、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行います。

8月に調査を実施しますが、前回の回収率は54・9%でした。今回はもっと回収できるよう、ご家族、関係機関の皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

【住民生活課】

証明手数料収納事務の不適切処理に対するその後の対応について

住民票や印鑑証明など、必要書類を発行するにあたり、手数料の未払いや、それに伴う事務の不適

切な処理があったことが発覚しました。その後の対応として、1階で書類を渡す際は、会計窓口で支払った領収書を確認してから発行2階で発行する場合は、会計窓口まで職員が同行し、支払いを確認することとなりました。



【熊石国保病院】

平成30年度の決算について

4月～9月に患者数が減ったため、差し引き収支は1160万円の赤字となりました。診療体制で収益が大きく変わるため、体制をしっかりと整えるとともに、診療単価を上げるための経営戦略会議を月に一度開催しています。また、材料費比率が高いので、薬品発注を一元化し後発医薬品を80%台にするなど、工夫していきます。

国保病院建替事業基本構想・基本計画について

国保病院も老朽化し、建て替えの時期にきていますが、今後の熊石の人口動態はもちろん、近隣町の状況も含め、専門のコンサルと相談し、持続可能な病院を目指します。コンサルについては、3社で指名競争入札を行い、地域住民の意見も十分に聞き取りしていきたいとの報告がありました。建設場所に関しては、今後十分検討されると思いますが、委員会からは、歯科も併設してほしい。ヘリポートも近くにあった方が便利なのではないかという意見も出ました。

【八雲総合病院】

平成30年度決算について

内科医師の不足により、新たな入院患者を受け入れることが出来ず、4億1397万7千円の赤字となり、内部留保資金も2128万2千円の不足となりました。

経営改善アドバイザリーについて

（株式会社武蔵野プリオ）

4月から上尾中央医科グループと2年契約し、毎月埼玉県から職員が来院。

デマンド交通等、透析患者さんのための移動方法をアドバイザーと話し合いながら検討。

看護部の課題改善のため、2交代制を導入。教育プログラムの充実を図る。

リハビリ棟では、今の20名のスタッフを30～40名に増やし、365日リハビリができるように取り組んでいく。等々。

収益の向上を目指し、色々な角度から改善を図っていきますとの報告でした。患者さんにとっても働く人にとっても良い病院であってほしいですね！

平成30年度決算 単位：千円

	八雲総合病院	熊石国保病院
収益	4,984,933	922,361
費用	5,398,910	933,961
差引収支	△413,977	△11,600

耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

八雲町熊石で頑張っているお二人です！

Q 熊石生まれのお二人は、いつ戻ってきたのですか？

- ・横浜にいたのですが、東日本大震災の時にいろいろ考えて、5年前に熊石に戻って来ました。今は父親と一緒に家業の電気商会をやっています。
- ・自分も札幌や東京にいたのですが、8年前に戻ってきて、今、家業の漁業を営んでいます。

Q 帰ろうと決断した時、家族や周りの反応はどうでしたか？

- ・妻は札幌出身なので、不安も大きいようでした。今は子ども達も地元の小学校や保育園に元気に通っています。
- ・父親はやりたいことは何でもやらせてくれるので、「やりたいなら頑張ってください！」という感じでした。

Q 新聞でも報道されていましたが、ウニはいつから養殖しているのですか？

ウニ養殖部会として、道と町から補助金を受け、3年前に始まりました。やせウニをとってきて、地蒔きして餌をやりながら育てています。養殖場所が狭いこともありますが、資源保護も考えると、あまり多くは取らないように気を付けています。

Q ウニのエサは？

ウニは雑食なので、基本的に何でも食べるのですが、地元の餌をと考え、採卵後のサケと昆布を主にやっています。ウニのトゲトゲのところに、プラスチックが挟まると、それをも食べてしまうので、ごみは海に捨ててはいけません。収穫も1トンくらいと少ないのですが、ブランド化を目指しています。今年は、東京にも出荷したり、「あわびの里フェスティバル」や「耳吊り選手権」でも生ウニを販売し、喜んでもらったので良かったです。

Q 日本海には磯焼けの問題があると聞きましたか？

今は、海藻も少しずつ成長していて、海水温もそれほど高くないので、磯焼け問題は聞こえ



てこないです。でも、自然相手なので、いつどうなるのかは不安。せっきく研究所が出来たのだから、定点観測をして海の状況など詳しく教えてもらえたら助かります。

Q 活性化に向けて今考えていることは？

地域が狭いと、人の温かさもダイレクトに伝わってくるところは良いけれど、どんな町にしたいかということ、なかなか話すチャンスがない。自分達より若い世代の人もいるし、上の世代の人もいるので、自分達がそのつなぎ役として努力したい。まず、何をしたいかを話し合うところからかな？

合併10周年の時の山車行列に、熊石の山車も参加したのがとても良かったので、今後もそうした交流も考えられたらと思います。

Q 議会に対してのイメージは？

都会と違って、近所にいる人が議員なので、議会が近く感じます。給食費や医療費の無償化等が実現し、子育て世代には助かると、家でも話しています。

…取材を終えて…

地元に戻って来てから数年。まだまだ遠慮をしているところも見られましたが、多くの方たちとつながり、自分たちの仕事や活動、町の良さをどんどん発信して、八雲町全体を盛り上げて行きたいという熱意を強く感じました。こうした若い力が、今後の八雲町を担っていくのですから、とても頼もしいです。是非、若者みんなで知恵を出し合い、汗を流し、自分たちにとって楽しく住みやすい町を目指してほしいです。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局 (☎0137-62-2388) へご報告ください。

広報誌内には (c) 2002-2013www.arttodayjapan.comの画像を使用しています